

平成22年度 数学Bのシラバス

1 科目名, 単位数, 履修学年, 履修区分, 使用する教科書

科目名	数学B	単位数	3	履修学年・区分	第3学年・Aコース
使用する教科書	高等学校 新数学B (啓林館)				
副教材等	ファンダノート 数学B (啓林館)				

2 学習目標

第1章では数列について、第2章ではベクトルについて学習します。
 数列では、ある規則に従って並んでいる数の規則について考え、式で表したり、和を求めたりすること、ベクトルでは、大きさと向きをもったベクトルというものについて理解し、身近な図形の中などで利用することを目標にしていきましょう。

3 学習方法

大切にして欲しいのは授業です。授業をしっかりと聞いてノートを取り、授業中の演習の中で理解を深めて欲しいと思います。また、問題集などでの復習を通して、理解した内容を定着させましょう。
 ぜひ、苦勞して解けたときの喜びを味わってください。

4 学習計画

学期	学習内容 (单元名)	学習事項・学習活動	評価のポイント
第1学期	第1章 数列 1. 数列とその項 2. 等差数列 3. 等比数列	<ul style="list-style-type: none"> 数列 数列の一般項 等差数列 等差数列の和 等比数列 等比数列の和 	<p>数列の規則に気づき、一般項を式で表せる。</p> <p>等差数列の性質を理解し、一般項が求められる。等差数列の初項から第n項までの和が求められる。</p> <p>等比数列の性質を理解し、一般項が求められる。等比数列の初項から第n項までの和が求められる。</p>
第2学期	第2章 ベクトル 1. ベクトルとその計算 2. ベクトルの成分 3. ベクトルの内積	<ul style="list-style-type: none"> ベクトル ベクトルの和 ベクトルの差 ベクトルの実数倍 ベクトルの計算法則 ベクトルの平行 ベクトルの成分表示 和, 差, 実数倍の成分 ベクトルの内積 内積と成分 内積の計算法則 	<p>ベクトルの定義について理解する。平面上に表されたベクトルの和, 差, 実数倍を表すベクトルを図示できる。ベクトルの計算法則を理解する。平行なベクトルを式で表せる。</p> <p>平面上に表されたベクトルを成分で表せる。成分表示したベクトルの大きさを求められる。成分表示したベクトルの和, 差, 実数倍を成分で表せる。</p> <p>0 でない 2 つのベクトルとそのなす角が分かっているとき, その内積を求められる。成分表示されたベクトルの内積を求められる。内積の計算法則を理解する。</p>
第3学期	第2章 ベクトル (続き) 4. 位置ベクトル	<ul style="list-style-type: none"> 位置ベクトル 内分点・外分点の位置ベクトル 	<p>線分 AB をある比に内分する点, 外分する点の位置ベクトルを, 点 A, B の位置ベクトルで表せる。</p>

5 学習評価

評価については、次の4つのポイントをみます。
 ・1年間に5回行われる定期考査での得点
 ・毎回の授業時間の取り組み姿勢
 ・提出物の状況
 ・出欠席の状況
 授業を大切に、その場その場で理解して次の学習につなげられるようにしましょう。